

施策評価シート(平成22年度の振り返り、総括)

作成日 平成 23 年 7 月 15 日

施策	29	工業の振興	主管課	名称 観光商工課	関係課
				課長 真庭 敏	

施策の目的	対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標名	把握方法や定義など		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度見込み
		①工業事業所	①工業事業所数	群馬県工業統計調査による		箇所	36	39	35	
	意図 (対象をどういう状態にするのか)	成果指標名 (意図の達成度を表す指標)	設定の考え方	把握方法や定義など	単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度目標
	①工業事業所数を増やす	①事業所増減数	直接的な指標	群馬県工業統計調査による(今回調査結果-前回調査結果)	箇所	△4	3	△4		
	②出荷額を増やす	②製造品出荷額	直接的な指標	群馬県工業統計調査による	百万円	47,034	44,532	29,832		
		③1カ所あたりの出荷額	意図の①②の相関関係を把握するための指標。	②/工業事業所数	百万円	1,307	1,142	852		

住民と行政との役割分担	1. 住民の役割 (住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)	2. 行政の役割 (町がやるべきこと、都道府県がやるべきこと、国がやるべきこと)	
	<p><企業></p> <p>①企業努力をしよう。</p> <p>②周辺環境に配慮し、環境に負荷を与えないようにしよう。</p> <p>③地域への社会貢献活動に参加しよう。</p>	<p>1) 町がやるべきこと</p> <p>①地域工業の振興を図る。</p> <p>②農林産物加工における工業化の推進を図り、より付加価値の高い特産物づくりと食品加工の振興を支援する。</p> <p>③特例措置(企業立地法、農工法、過疎法等)による経済的支援</p> <p>④企業PRへの支援</p> <p>⑤町のイメージを損なわないような事業を展開しよう。(開発協議など)</p>	<p>2) 国・県がやるべきこと</p> <p>①技術開発、新商品の開発、一社一技術、地場産業の振興、販路拡大などの支援を行う。</p> <p>②企業立地促進法、農村地域工業等導入促進法などの制度の充実</p>

1. 施策の成果水準とその背景・要因		
<p>1) 現状の成果水準と時系列比較（現状の水準は？以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は？）</p>	<p>2) 他団体との比較（近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は？）</p>	<p>3) 住民の期待水準との比較（住民の期待よりも高い水準なのか同程度なのか、低いのか、その他の特徴は？）</p>
<p>①工業事業所数は、平成19年度36、平成20年度39、平成21年度35となっている。近年の経済状況により、事業の廃止や事業所の統合等が進んでいるのではないかと考えられる。 ②製造品出荷額は、平成19年度470億円、平成20年度445億円、平成21年度298億円となり、平成20年度と平成21年度を比較すると172億円(33%)と大幅に減少している。これは、世界的な景気低迷が大きく影響したものと考えられる。 ③1カ所あたりの出荷額も、平成19年度1,307百万円、平成20年度1,142百万円、平成21年度852百万円と、平成20年度から平成21年度に大きく減少している。</p>	<p>①製造品出荷額平成21年度の県全体6,706,669百万円に占めるみなかみ町の割合は0.44%となっている。沼田市1.24%、片品村0.05%、川場村0.02%、昭和村0.43%となっている。ちなみに前橋市8.01%、太田市25.72%である。</p>	<p>①企業から特例措置(企業立地法、農工法、過疎法等)による経済的支援について、期間限定でありその延長を求める声がある。</p>
2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括		3. 施策の課題認識と改革改善の方向
<p>①みなかみ町として工業振興のための独自施策は行っておらず、群馬県工業振興課とみなかみ町商工会の連携・調整等を行っている程度である。</p>		<p>①町内の既存工業(場)の製造品等を町民に知ってもらうため、町民へPRすることは大切である。</p>